

# アクサダイレクト生命 PRESS RELEASE

2016年02月04日

## アクサダイレクト生命 2015年度第3四半期(2015年4月1日～12月31日)の業績を発表

### 収入指標

- ・ 新契約件数は前年同期比 53.6%増の 12,618 件、保有契約件数は前年度末比 14.1%増の 68,689 件、保険料等収入は前年同期比 16.7%増の 2,060 百万円となりました。

### 収益指標

- ・ 経常収益が 2,066 百万円となる中、経常費用 4,415 百万円(保険金等支払金 572 百万円、責任準備金等繰入額 647 百万円、事業費 2,049 百万円、その他経常費用 1,144 百万円)、特別損失 7 百万円および法人税等合計△576 百万円を控除した結果、四半期純損失は 1,779 百万円となりました。

### 財務基盤

- ・ ソルベンシー・マージン比率は 2,592%となっており、十分に高い健全性を確保しております。

アクサダイレクト生命の代表取締役社長、斎藤英明は、次のようにコメントしています。

「新契約件数は前年同期比 53.6%増、保険料等収入も同 16.7%増と、さらに成長を加速しています。お客さま層の拡大やニーズの多様化に対応するため、様々なチャネルやデバイスを複合的に活用するオムニチャネル戦略が継続した成長を牽引しています。とりわけ、昨年 9 月に行った Web サイトの全面リニューアルでは、徹底した顧客調査によってお客さまにご納得して保険を選択いただくためのサービスを追求いたしました。また同時に発売した新商品「アクサダイレクトの終身医療」は、手頃な保険料と合理的な保障内容がお客さまからご支持をいただき、業績伸長の大きな要因となりました。

今後もスピード感ある経営のもと、最新テクノロジーを使った利便性の高いサービスの提供と合理的でわかりやすい商品の進化に努め、アクサダイレクト生命ならではの価値を追求してまいります。」

#### アクサダイレクト生命について

アクサダイレクト生命は、2008年4月より営業を開始した日本初のインターネット専業生命保険会社で、アクサ生命保険株式会社の100%子会社です。アクサ生命、アクサダイレクト生命、アクサ損害保険の3社で形成されているアクサ ジャパン グループのダイレクトビジネスを担う生命保険会社として、手頃でわかりやすく、お客さまが自信を持って選択できる保険商品を、インターネットを通じて提供しています。チャネルとデバイスを複合的に活用することでサービスの利便性向上をはかり、お客さまが納得してご契約いただけるよう独自のオムニチャネルを構築しています。

#### AXA グループについて

AXA は世界 59 ヶ国で 16 万 1,000 人の従業員を擁し、1 億 300 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2014 年度通期の売上は 920 億ユーロ、アンダーライティング・アーニングス(基本利益)は 51 億ユーロ、2014 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 1 兆 2,770 億ユーロにのぼります。AXA はユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、AXA の米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

～本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします～  
アクサダイレクト生命保険株式会社 セールス&マーケティング部 広報  
TEL:03-5210-1540 FAX:03-5210-1542  
E-mail: [communication@axa-direct-life.co.jp](mailto:communication@axa-direct-life.co.jp)

## 2015年度第3四半期報告

アクサダイレクト生命（代表取締役社長 斎藤 英明）の2015年度第3四半期（4月1日～12月31日）の業績は添付のとおりです。

### <目次>

1. 主要業績	……	1頁
2. 資産運用の実績（一般勘定）	……	3頁
3. 四半期貸借対照表	……	4頁
4. 四半期損益計算書	……	5頁
5. 経常利益等の明細（基礎利益）	……	7頁
6. ソルベンシー・マージン比率	……	8頁
7. 特別勘定の状況	……	8頁
8. 保険会社及びその子会社等の状況	……	8頁
		以上

---

お問い合わせは、次にお願いたします。

## 1. 主要業績

### (1) 保有契約高及び新契約高

#### 保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	2014年度末		2015年度 第3四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数	金 額		
				前年度 末比	前年度 末比	
個 人 保 険	60	4,256	68	114.1	4,586	107.8
個人年金保険	-	-	-	-	-	-
団 体 保 険	-	-	-	-	-	-
団体年金保険	-	-	-	-	-	-

#### 新契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	2014年度 第3四半期累計期間				2015年度 第3四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数	金 額				
		新契約	転換による 純増加			前年 同期比	前年 同期比	新契約	転換による 純増加	
個 人 保 険	8	423	423	-	12	153.6	616	145.6	616	-
個人年金保険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
団 体 保 険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
団体年金保険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## (2) 年換算保険料

### 保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	2014年度末	2015年度	
		第3四半期 会計期間末	前年度 末比
個 人 保 険	2,467	2,795	113.3
個 人 年 金 保 険	-	-	-
合 計	2,467	2,795	113.3
うち医療保障・ 生前給付保障等	995	1,167	117.3

### 新契約

(単位：百万円、%)

区 分	2014年度 第3四半期 累計期間	2015年度	
		第3四半期 累計期間	前年 同期比
個 人 保 険	355	510	143.8
個 人 年 金 保 険	-	-	-
合 計	355	510	143.8
うち医療保障・ 生前給付保障等	131	251	191.4

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間等で除した金額)。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上していません。

## 2. 資産運用の実績（一般勘定）

### （1）資産の構成

（単位：百万円、％）

区 分	2014年度末		2015年度 第3四半期会計期間末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現預金・コールローン	5,558	44.3	5,891	52.3
買 現 先 勘 定	-	-	-	-
債券貸借取引支払保証金	-	-	-	-
買 入 金 銭 債 権	-	-	-	-
商 品 有 価 証 券	-	-	-	-
金 銭 の 信 託	-	-	-	-
有 価 証 券	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-
株 式	-	-	-	-
外 国 証 券	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-
株 式 等	-	-	-	-
そ の 他 の 証 券	-	-	-	-
貸 付 金	-	-	-	-
不 動 産	17	0.1	35	0.3
繰 延 税 金 資 産	1,140	9.1	898	8.0
そ の 他	5,823	46.4	4,432	39.4
貸 倒 引 当 金	-	-	-	-
合 計	12,540	100.0	11,258	100.0
う ち 外 貨 建 資 産	-	-	-	-

### （2）有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの）

該当する事項はありません。

### （3）金銭の信託の時価情報

該当する事項はありません。

### 3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	2014年度末 要約貸借対照表 (2015年3月31日現在)	2015年度 第3四半期会計期間末 (2015年12月31日現在)
		金 額	金 額
( 資 産 の 部 )			
現 金 及 び 預 貯 金		5,558	5,891
有 形 固 定 資 産		27	45
無 形 固 定 資 産		69	50
再 保 険 貸 金		60	19
そ の 他 の 資 産		5,683	4,353
保 険 業 法 第 113 条 繰 延 資 産		4,444	3,333
そ の 他 の 資 産		1,238	1,020
繰 延 税 金 資 産		1,140	898
貸 倒 引 当 金		-	-
資 産 の 部 合 計		12,540	11,258
( 負 債 の 部 )			
保 険 契 約 準 備 金		2,913	3,561
支 払 備 金		134	176
責 任 準 備 金		2,779	3,385
代 理 店 借 借		7	9
再 保 険 借 借		68	43
そ の 他 の 負 債		413	282
未 払 法 人 税 等		4	3
資 産 除 去 債 務		8	12
そ の 他 の 負 債		399	266
役 員 退 職 慰 労 引 当 金		4	5
価 格 変 動 準 備 金		0	0
繰 延 税 金 負 債		-	-
負 債 の 部 合 計		3,407	3,904
( 純 資 産 の 部 )			
資 本 金		9,750	9,750
資 本 剰 余 金		8,590	8,590
資 本 準 備 金		8,590	8,590
利 益 剰 余 金		△ 9,207	△ 10,987
そ の 他 利 益 剰 余 金		△ 9,207	△ 10,987
繰 越 利 益 剰 余 金		△ 9,207	△ 10,987
株 主 資 本 合 計		9,133	7,353
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		-	-
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		-	-
純 資 産 の 部 合 計		9,133	7,353
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計		12,540	11,258

#### 4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	
	2014年度 第3四半期累計期間 〔2014年4月1日から 2014年12月31日まで〕	2015年度 第3四半期累計期間 〔2015年4月1日から 2015年12月31日まで〕
	金 額	金 額
経 常 収 益	1,818	2,066
保 険 料 等 収 入	1,766	2,060
（うち保険料）	( 1,711 )	( 1,997 )
資 産 運 用 収 益	0	0
（うち利息及び配当金等収入）	( 0 )	( 0 )
そ の 他 経 常 収 益	51	4
経 常 費 用	4,078	4,415
保 険 金 等 支 払 金	671	572
（うち保険金）	( 334 )	( 172 )
（うち年金）	( 4 )	( 5 )
（うち給付金）	( 208 )	( 227 )
（うち解約返戻金）	( 27 )	( 43 )
（うちその他返戻金）	( 0 )	( 0 )
責 任 準 備 金 等 繰 入 額	504	647
支 払 備 金 繰 入 額	-	41
責 任 準 備 金 繰 入 額	504	606
資 産 運 用 費 用	0	0
（うち支払利息）	( 0 )	( 0 )
事 業 費 用	1,743	2,049
そ の 他 経 常 費 用	1,158	1,144
経 常 損 失 ( △ )	△ 2,259	△ 2,349
特 別 損 失	0	7
固 定 資 産 等 処 分 損	0	7
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額	-	-
税 引 前 四 半 期 純 損 失 ( △ )	△ 2,259	△ 2,356
法 人 税 及 び 住 民 税	△ 811	△ 819
法 人 税 等 調 整 額	237	242
法 人 税 等 合 計	△ 574	△ 576
四 半 期 純 損 失 ( △ )	△ 1,685	△ 1,779

## 注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

### 2015年度第3四半期会計期間末

1. 保険業法第113条繰延資産の額は、3,333百万円であります。  
なお、保険業法第113条繰延資産の償却方法は、定款の規定に基づき償却しております。
2. 株主資本の金額の著しい変動

(単位：百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
当期首残高	9,750	8,590	△9,207	—	9,133
当第3四半期会計期間末 までの変動額					
新株の発行	—	—	—	—	—
四半期純損失(△)			△1,779		△1,779
当第3四半期会計期間末 までの変動額合計	—	—	△1,779	—	△1,779
当第3四半期会計期間末 残高	9,750	8,590	△10,987	—	7,353

3. 金額は、記載金額未満を切り捨てて表示しております。

## 注記事項

(四半期損益計算書関係)

### 2015年度第3四半期累計期間

1. 1株当たり四半期純損失は2,760円48銭であります。
2. 金額は、記載金額未満を切り捨てて表示しております。



## 5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	2014年度 第3四半期累計期間	2015年度 第3四半期累計期間
基礎利益 A	△ 2,249	△ 2,327
キャピタル収益	-	-
金銭の信託運用益	-	-
売買目的有価証券運用益	-	-
有価証券売却益	-	-
金融派生商品収益	-	-
為替差益	-	-
その他キャピタル収益	-	-
キャピタル費用	-	-
金銭の信託運用損	-	-
売買目的有価証券運用損	-	-
有価証券売却損	-	-
有価証券評価損	-	-
金融派生商品費用	-	-
為替差損	-	-
その他キャピタル費用	-	-
キャピタル損益 B	-	-
キャピタル損益含み基礎利益 A + B	△ 2,249	△ 2,327
臨時収益	-	-
再保険収入	-	-
危険準備金戻入額	-	-
個別貸倒引当金戻入額	-	-
その他臨時収益	-	-
臨時費用	10	21
再保険料	-	-
危険準備金繰入額	10	21
個別貸倒引当金繰入額	-	-
特定海外債権引当勘定繰入額	-	-
貸付金償却	-	-
その他臨時費用	-	-
臨時損益 C	△ 10	△ 21
経常利益 A + B + C	△ 2,259	△ 2,349

## 6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	2014年度末	2015年度 第3四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	4,988	4,341
資本金等	4,688	4,020
価格変動準備金	0	0
危険準備金	299	321
一般貸倒引当金	-	-
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	-	-
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	-	-
負債性資本調達手段等	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性 資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	-	-
控除項目	-	-
その他	-	-
リスクの合計額	312	335
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)		
保険リスク相当額	239	256
第三分野保険の保険リスク相当額	57	62
予定利率リスク相当額	0	0
最低保証リスク相当額	-	-
資産運用リスク相当額	56	59
経営管理リスク相当額	10	11
ソルベンシー・マージン比率	3,190.2	2,592.0
$\frac{(A)}{(1/2) \times (B)}$	%	%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条、第190条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

## 7. 特別勘定の状況

該当する事項はありません。

## 8. 保険会社及びその子会社等の状況

該当する事項はありません。